

I 江戸時代の日本と諸外国との関係について述べた次の文章を読んで、以下の問1～問5に答えなさい。解答は、設問で指定された場合を除いて、すべて番号で解答用紙の〔解答欄A〕の所定の欄に記入しなさい。

国は一国では存在し得ず、他国との関わりの中で歴史を作っていく。近世日本が鎖国体制に向かうのも、開国を余儀なくされるのも、<sup>A</sup> 欧米諸国のアジア進出と深く関わっている。

大航海時代、( a ) は、16世紀初頭にインド西海岸のゴアを足がかりにしてアジア諸国との交易を開始し、( b ) はアメリカ大陸に植民地を広げ、さらに16世紀後半に太平洋を横断してフィリピンに進出した。この両国をはじめとしてヨーロッパ諸国が日本との貿易を模索した。徳川幕府は<sup>B</sup> ヨーロッパ諸国との貿易に力を注ぐ一方、東アジアにも目を向け、周辺諸国と関係を深めていく。しかしその後、幕府は<sup>C</sup> 鎖国へと政策を転換した。

19世紀に入ると、欧米諸国は強大な工業生産力と軍事力をもってアジアへの進出を本格化させた。幕府は鎖国体制を守ろうとしたが、<sup>D</sup> 諸外国の圧力が強まり幕藩体制も動揺したことから開国し、さらに幕府自体も崩壊した。

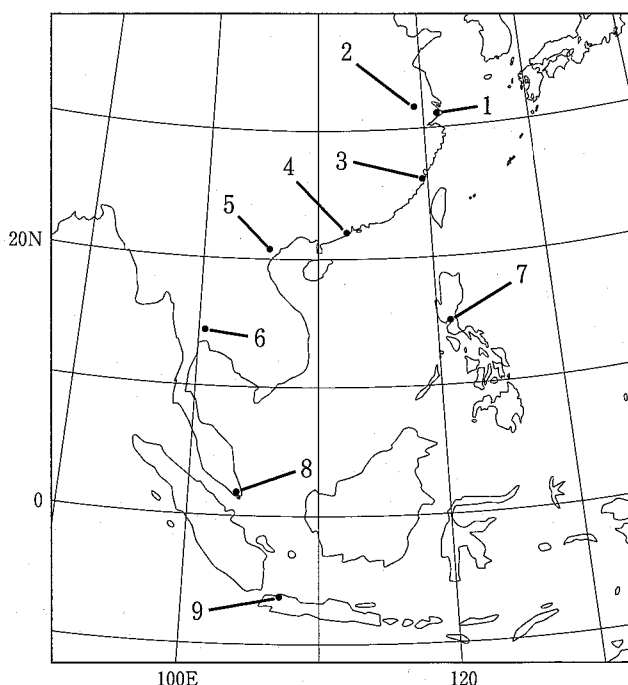
問1 上の文章中の (a)、(b) を補うのにもっとも適切な国名を〔解答欄B〕の所定の欄に記述しなさい。

問2 下線部Aに関連して、次の東・東南アジアの都市についての説明文a～dにあてはまる都市の名称を下の語群1～8の中から選び、その都市の位置を下の地図上の1～9の中から選びなさい。(重複使用不可)

- a. この都市にオランダが東インド会社のアジアにおける本拠地を置いた。
- b. この都市はシャムの首都で、山田長政を長とする日本町があった。
- c. この都市でアヘン戦争の講和条約は結ばれた。
- d. この都市にはアヘン戦争の結果、清が開いた港があり、また1932年、1937年に日中両国が衝突した。

〔語群〕

- |         |         |           |         |
|---------|---------|-----------|---------|
| 1. アユタヤ | 2. 上海   | 3. シンガポール | 4. トンキン |
| 5. 南京   | 6. バタビア | 7. マカオ    | 8. マニラ  |



問3 下線部Bに関連して、次の(1)、(2)に答えなさい。

(1) 江戸時代前半における貿易について述べた次の1～4の文章の中から、誤りを含むものを1つ選びなさい。

1. 徳川家康は田中勝介をアメリカ大陸のノビスパンに派遣し、伊達政宗は支倉常長をノビスパン経由でイスパニアに派遣した。
2. 幕府は、外国商人による国産生糸の輸出利益の独占を排除するために17世紀初頭に糸割符制度を作り、特定の国内商人に生糸輸出の権利を与えた。
3. 幕府は、鎖国政策への転換後、奉行を置いて直接統治していた長崎のみを貿易港とし、平戸にあったオランダ商館を出島に移した。その後、中国人の居住を唐人屋敷に限った。
4. 鎖国政策への転換後も貿易額は増加した。幕府は銀が流出したとして17世紀末に輸入額を制限し、来航船数を規制した。18世紀初頭には新井白石が海舶互市新例を発して規制を強めた。

(2) 17世紀の日本と周辺諸国・地域との関係について述べた次の1～4の文章の中から、誤りを含むものを1つ選びなさい。

1. 幕府は文禄・慶長の役の講和のため、日本に連行されていた朝鮮人の返還要求に応じた。その帰還を目的とした使節が朝鮮から派遣された。使節は、やがて主として慶賀の使節となり通信使と呼ばれた。
2. 朝鮮と日本は対馬の宗氏を通じて国交を回復し、宗氏が朝鮮との貿易を独占することになった。己酉約条では、釜山に設置された倭館に毎年一定の貿易船を対馬から派遣することが認められた。
3. 薩摩藩は琉球王国を征服し、琉球と明との冊封関係を禁じて、その支配下に置いた。幕府は、自らの権威を示すために、琉球から江戸に謝恩使と慶賀使を送らせた。
4. 松前氏は豊臣秀吉から蝦夷地の対アイヌ交易独占権を認められていたが、徳川家康もこれを追認した。松前氏は商場と呼ばれるアイヌとの交易地域での交易権を家臣に知行として与えた。

問4 下線部Cに関連して、以下の(1)～(3)に答えなさい。

(1) 次の史料a、bは鎖国に関する法令の一部である(『徳川禁令考』より抜粋、句読点等を補充し、適宜表記を改めた)。これらの法令が出された時期を、それぞれ下の年表中の空欄1～6の中から選びなさい。(重複使用不可)

a

- |  |
|--|
| 一、異国え日本の船を遣すの儀、堅く停止の事。<br>一、日本人異国え遣し申す間敷く候。もし忍び候て乗り渡る者これ有るに於ては、その者は死罪、…… |
|--|

b

- |  |
|--|
| 一、日本国御制禁成され候切支丹宗門の儀、その趣を存じながら、かの宗を弘むるの者、今に密々差し渡るの事、……<br>右これにより自今以後、かれうた渡海の儀これを停止せられ畢。この上もし差し渡るにおゐては、その船を破却、…… |
|--|

1
元和の大殉教
2
スペイン船の来航が禁止される
3
奉書船以外の渡航が禁止される
4
島原の乱が起こる
5
オランダ商館が出島に移設される
6

(2) 幕府が鎖国へと政策を転換した理由を説明しなさい。解答は〔解答欄B〕の所定の欄の範囲内で記述しなさい。

(3) 江戸時代の学問について述べた次の文章中の下線部1～8の中から、誤っているものを2つ選びなさい。  
(順不同)

幕府公認の学問であった陽明学<sup>1</sup>の木下順庵は多くの弟子を育てた。そのうち新井白石は、宣教師を尋問した知識をもとに17世紀初頭に『采覧異言』や『西洋紀聞』をまとめ洋学の先駆けともいえる業績を残した。また、通詞の西川如見は長崎で見聞した海外事情をもとに『華夷通商考』<sup>3</sup>を著した。

その後、徳川吉宗<sup>4</sup>が漢訳洋書の輸入を緩和し、青木昆陽らにオランダ語を学ばせたことで蘭学が盛んになる。医学では、漢方医学の山脇東洋が人体解剖の観察記録である『蔵志』<sup>5</sup>を著し、杉田玄白らは西洋医学の解剖書を訳述した『解体新書』を刊行した。幕府天文方の高橋至時<sup>6</sup>らは西洋の天文学を取り入れて『貞享暦』を作った。至時の子の高橋景保は、洋書を翻訳する<sup>7</sup>蛮書和解御用の創設に携わった。19世紀に入ると、高島秋帆から西洋砲術を学び、伊豆蓑山に反射炉を築いた<sup>8</sup>江川太郎左衛門など、軍事に関わる人々が活躍するようになる。

問5 下線部Dに関連して、次の(1)、(2)に答えなさい。

- (1) 次の史料a～dは、日本の開国に関わる条約・法令・外国元首の親書からの引用である(句読点等を補充し、適宜表記を改めた。出典は解答のヒントになるため省略した)。これらの、条約が調印された時期、法令が出された時期、親書が日本に届いた時期を、下の年表中の空欄1～7の中から選びなさい。(重複使用不可)

a

いぎりすの船、先年長崎において狼藉に及び、近来は所々え小船にて乗り寄せ……一体いぎりすに限らず、南蛮西洋の儀は、御制禁邪教の国に候間、以来いづれの浦方におゐても、異国船乗り寄せ候を見請け候はば、その所に有り合せ候人夫を以て、有無に及ばず、一凶に打ち払ひ、逃げ延び候はば、追船に及ばず、そのままに差し置き、もし押て上陸いたし候はば、搦め捕り又は打ち留め候ても苦しからず候。

b

帝国大日本大君と、亜墨利加合衆国大統領と、親睦の意を堅くし、且つ永續せしめんために、両国の人民貿易を通ずる事を処置し、その交際の厚からん事を欲するかために、懇親及び貿易の条約を取り結ぶ事を決し、……日本人に対し、法を犯せる亜墨利加人は、亜墨利加コンシユル裁断所にて吟味の上、亜墨利加の法度を以て罰すべし。

c

一、伊豆下田・松前地箱館の両港は、日本政府に於て、亜墨利加船に薪水・食料・石炭欠乏の品を、日本にて調へ候丈は給へ候為め、渡来の儀差し免し候。尤下田港は約条書面調印の上即時にも相開き、箱館は来年三月より相始め候事。

d

一、謹みて古今の時勢を通考するに、天下の民は速かに相親む者にして、その勢ひは人力のよく防ぐ所にあらず。蒸気船を創製せしよりこのかた、各国相距たること遠きも猶近きに異ならず。かくの如く互いに好みを通ずるの時に当たり、独り国を鎖して万国と相親しまざるは人の好みする所にあらず。

1

ラクスマンが根室で通商を求める

2

フェートン号事件が起こる

3

モリソン号事件が起こる

4

アヘン戦争が始まる

5

老中阿部正弘が外国船来港について朝廷に報告する

6

老中堀田正睦がアメリカとの条約調印の勅許を求める

7

(2) 江戸時代後期に幕府が行なった改革について述べた次の1～4の文章の中から、誤りを含むものを1つ選びなさい。

1. 松平定信は、寛政の改革で学問の制限や出版の統制を行ない、『海国兵談』などで海防の必要を説いた林子平を処罰した。一方、定信は諸藩に海防強化を命じ、江戸湾や北方の防備構想を打ち出した。
2. 阿部正弘が主導した安政の改革では、幕府は国防の強化を主目的として、江戸湾に台場を築き、大船建造の禁を解いた。また江戸の講武所や長崎の海軍伝習所を設け、洋式の兵術や軍艦操縦を訓練した。
3. 公武合体の運動を推し進める島津久光らの働きかけで行なわれた文久の改革では、一橋慶喜が將軍後見職に任命され、政事総裁職・京都守護職の設置、参勤交代の軽減、洋式軍制の導入が行なわれた。
4. 將軍になった徳川慶喜はイギリス公使パークスの支援を受けて幕府の立て直しを試みたが、薩長同盟の成立後はフランス公使ロッシュの提言を受け入れ、フランスの陸軍士官に軍制改革を指導させた。

Ⅱ 鉄道整備における官民の役割分担について述べた次の文章を読んで、以下の問6～問13に答えなさい。解答は、設問で指定された場合を除いて、すべて番号で解答用紙の【解答欄A】の所定の欄に記入しなさい。

明治政府は早くから鉄道整備に乗り出した。1872(明治5)年、( a )・( b )間に官営の鉄道が開業し、ついで1874年には( c )・( d )間も開業した。

しかしその後、政府の財政状況が悪化したことから、私鉄に政府が財政補助を与えつつ鉄道整備を進める方式が採用された。1881(明治14)年に設立された日本鉄道会社は私鉄の先駆けであり、1885年に <sup>A</sup>前橋・赤羽・品川間、1891年に上野・青森間の鉄道を開通させた。一方、官営の東海道線は1889年に( a )から( d )まで全通した。

私鉄の山陽鉄道は <sup>B</sup>日清戦争勃発直前に( d )・広島間の鉄道を開通させており、広島は重要な軍事拠点となった。その後1906(明治39)年には西園寺公望内閣のもとで <sup>C</sup>鉄道国有法が制定され、大手私鉄17社の買収・国有化が進められた。 <sup>D</sup>日露戦争後、都市化にともなう通勤用近距離鉄道の拡大を含めて鉄道の重要性はさらに高まり、官営と私鉄を合わせた輸送量は1930年代末までに10倍以上に膨らんだ。それとともに、 <sup>E</sup>鉄道はさまざまな出来事の舞台ともなった。

第二次世界大戦後の経済復興においても鉄道輸送は重要な役割を果たしたが、高度経済成長期以降、 <sup>F</sup>旅客・貨物の輸送手段は多様化し、輸送量全体に占める輸送手段別の比率も大きく変化した。国鉄の経営は悪化し、赤字ローカル線の建設などによって長期債務が累積していった。そして、経済状況が激変し、 <sup>G</sup>新自由主義的政策が進められるなかで、国鉄は分割・民営化された。

問6 上の文章中の空欄(a)～(d)を補うのにもっとも適切な地名を次の1～8から選びなさい。(重複使用不可)

- |       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 大垣 | 2. 大阪 | 3. 神戸 | 4. 新橋 |
| 5. 長崎 | 6. 博多 | 7. 馬関 | 8. 横浜 |

問7 下線部Aの区間は、官営鉄道と合わせ、当時の主要輸出品の産地と輸出港の間を結ぶ役割を担った。その輸出品の名称を【解答欄B】の所定の欄に記述しなさい。

問8 下線部Bに関連して、次の1～5の事項を年代の古い順に並べ替え、所定の解答欄の左から順にその番号を記入しなさい。

1. 甲午農民戦争勃発
2. 下関条約調印
3. 日英通商航海条約調印
4. 日清戦争開始
5. 日本による台湾総督府設置

問9 下線部Cに関して、西園寺内閣が鉄道の国有化を進めようとした理由を説明しなさい。解答は〔解答欄B〕の所定の欄の範囲内で記述しなさい。

問10 下線部Dに関連して、日露戦争の講和条約調印後から韓国併合までの経過について、次の語群から必要な語を4つ選んで説明しなさい。解答は〔解答欄B〕の所定の欄の範囲内で記述しなさい。

〔語群〕

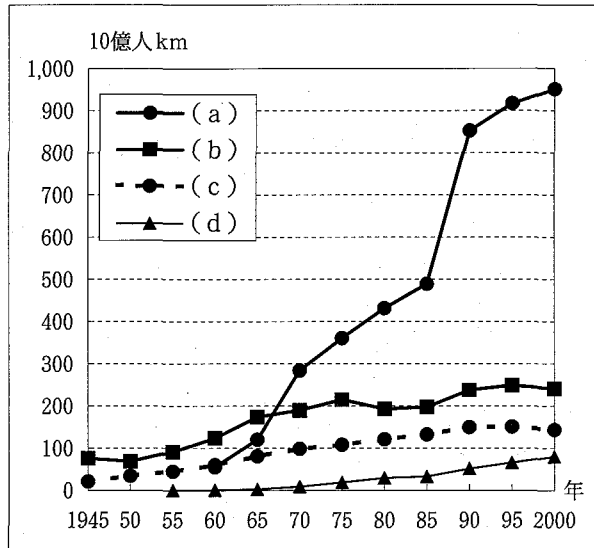
義兵運動	第1次日韓協約	第2次日韓協約	第3次日韓協約
日韓基本条約	ハーク密使事件	閔妃殺害事件	

問11 下線部Eに関連して、次の1～4の文章の中から誤りを含むものを1つ選びなさい。

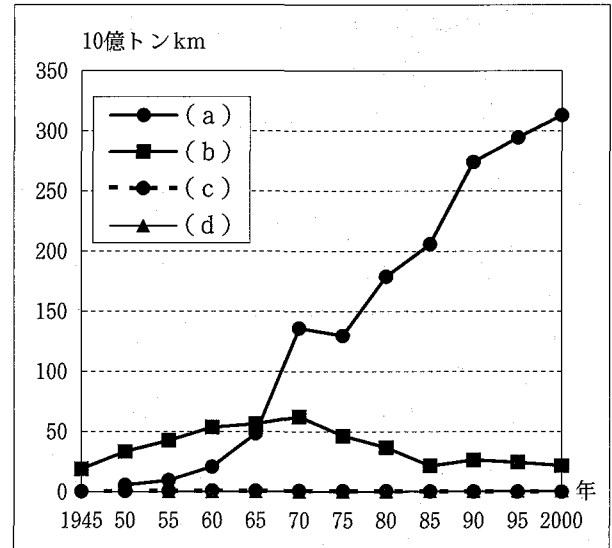
1. 初代内閣総理大臣を務めた伊藤博文は、第2次日韓協約締結後、漢城に設置された統監府の初代統監となった。伊藤は統監を辞した後、ハルビン駅頭で安重根によって暗殺された。
2. 原敬は米騒動後に内閣総理大臣に指名され、鉄道の拡充や高等教育の振興を打ち出し小選挙区制を導入した。原政権のもとで続発した汚職事件に対する非難が高まるなか、原は東京駅において暗殺された。
3. 張作霖は国民革命軍による北伐に迫われ、奉天郊外で関東軍によって列車ごと爆殺された。張作霖のあとをついだ息子張学良は国民政府と和解した。
4. 世界恐慌発生のに首相となった浜口雄幸は、高橋是清を蔵相として金輸出禁止や積極財政を実行したが、統帥権干犯問題に憤激した血盟団員によって東京駅で狙撃された。

問12 下線部Fに関して、次の第1図、第2図は、それぞれ第二次世界大戦後の国内の旅客輸送量と貨物輸送量の推移を、輸送手段別に示したグラフである。両図中の空欄(a)～(d)を補うのにもっとも適切な語句を、それぞれ下の1～4から選べない。

第1図 旅客輸送



第2図 貨物輸送



[資料出所] 国土交通省ホームページ

1. 航空      2. 国鉄(JR)      3. 私鉄      4. 自動車(バス・自家用車を含む)

問13 下線部Gに関連して、次のa～dの実施に携わった内閣の首相を、それぞれ下の〔語群〕1～8の中から選べない。

- a. 国鉄の分割・民営化  
b. 消費税(税率3%)の導入  
c. 消費税の税率5%への引き上げ  
d. 第2次臨時行政調査会の発足

〔語群〕

1. 小渕恵三      2. 海部俊樹      3. 小泉純一郎      4. 鈴木善幸  
5. 竹下登      6. 中曽根康弘      7. 橋本龍太郎      8. 宮沢喜一

Ⅲ 高度経済成長期以降の日本経済に関する次の文章を読んで、以下の問14～問17に答えなさい。解答は、設問で指定された場合を除いて、すべて番号で解答用紙の〔解答欄A〕の所定の欄に記入しなさい。

1960年代にはいと、日本は開放経済体制への移行を進めていった。資本の自由化にそなえて、日本企業間の大型合併があいつぐとともに、巨大企業集団が形成されていった。また、大企業内部では、<sup>A</sup> 日本的経営と呼ばれる特有の経営形態が定着していった。急速な経済成長を実現する一方で、都市の過密化や、<sup>B</sup> 公害問題など、高度成長のひずみが顕在化していったのもこの頃である。<sup>C</sup>

こうして日本経済が世界経済との関わりを深めるにつれ、<sup>D</sup> 世界経済や国際関係の変化が日本の政治・経済・社会にも大きな影響をおよぼすようになった。

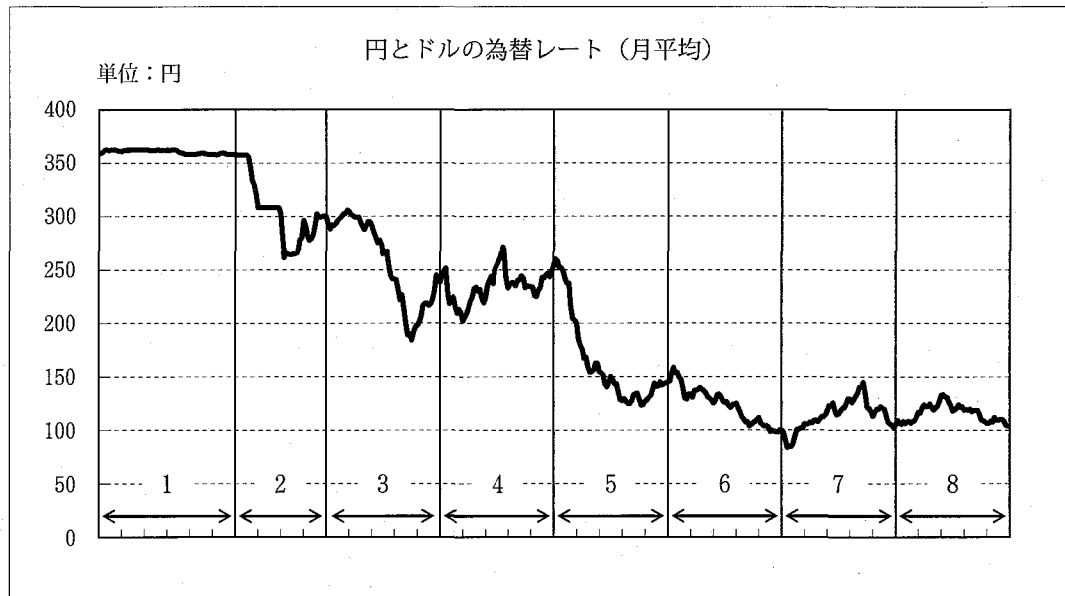
問14 下線部Aに関して、日本企業間の大型合併や企業集団化が進められた理由を、「資本の自由化」の意味をふまえて説明しなさい。解答は〔解答欄B〕の所定の欄の範囲内で記述しなさい。

問15 下線部Bに関して、日本的経営における労使関係の主な特徴を3つ、〔解答欄B〕の所定の欄に記述しなさい。  
(順不同)

問16 下線部Cに関して、「四大公害裁判」で争われた4つの公害病の名称を〔解答欄B〕の所定の欄に記述しなさい。  
(順不同)



問17 下線部Dに関連して、次の図は、第二次世界大戦後から現在に至る期間のうちのある40年間について、円とドルの為替レートの推移をグラフ化したものである。この図に関連する以下の(1)～(4)に答えなさい。



〔備考〕 横軸の目盛りの単位は1年。

〔資料出所〕 OECD. Stat Extracts のデータより作成。

(1) 次のa～eは上の図の1～8のどの時期の出来事か。それぞれ図中の番号で答えなさい。

- a. 沖縄返還協定が調印され、非核三原則が衆議院で決議された。
- b. 核拡散防止条約(NPT)の調印が開始され、米ソなどが調印した。
- c. 日米防衛協力のための指針(新ガイドライン)が日米間で合意され、周辺事態法や国旗・国歌法も成立した。
- d. ベルリンの壁が崩壊し、米ソ首脳がマルタ島で会談し冷戦終結を宣言した。
- e. 防衛関係費を対国民総生産(GNP)比1%以下にすることが閣議決定された。

(2) 図中の2の時期の前半には為替レートが急激に変化している。この為替レートの変化をもたらした国際通貨制度の変容について、その背景となった日米の経済状況にふれながら説明しなさい。解答は〔解答欄B〕の所定の欄の範囲内で記述しなさい。

(3) 図中の5の時期の為替レートの急激な変化に対して、この時期に日本政府がとった政策と日本企業の対応について説明しなさい。解答は〔解答欄B〕の所定の欄の範囲内で記述しなさい。

(4) 図中の6の時期にはアメリカを中心とする多国籍軍がイラクに対して武力行使を行なった。この時期に日本が「国際貢献」として実行した対外政策について説明しなさい。解答は〔解答欄B〕の所定の欄の範囲内で記述しなさい。